福島切りすて許さず
原発のない福島・日本へ！

日本共産党
県政報告
県議会12月定例会

2015年1月発行

日本共産党福島県議会議員団
県庁内・控室　福島市杉妻町2の16
電話　024・521・7618
FAX　024・523・3256
メール　jcpfskg@jcp-fukushima.gr.jp

12月定例県議会が、12月4日から12月19日まで16日間の会期で開催されました。12月9日に長谷部淳県議が代表質問、同11日に宮本しづえ県議が一般質問を行いました。
12月19日の最終本会議で宮川えみ子県議が議案討論、神山悦子県議が13年度決算への反対討論を行いました。

内堀雅雄新知事（右）に来年度予算編成についての要望を手渡す党県議団（県庁＝11月20日）

左から宮本しづえ、宮川えみ子、神山悦子、阿部裕美子、長谷部淳各県議会議員

憲法いかし県民の人権回復を
長谷部淳県議　代表質問

質問する
長谷部淳県議
（12月9日）

12月9日、長谷部淳県議が代表質問を行い、「原子力に依存しない社会づくり」への決意や現行憲法への認識と態度について内堀雅雄新知事に問いました。また、子どもの貧困対策や医療介護・子育て等の制度改定への対応などについて県にただしました。

「原発ゼロ」の明言求める

内堀知事はいまも12万人を超える避難者をはじめ「原発事故の厳しい影響は県内全域に及んでいる」との認識を示し、「二度とこうした事故を起してはならないというメッセージを国内外に発信し、次世代へ継承していくことが使命」と述べましたが、「原発ゼロ」を明確に発信すべきとする再質問に対しては答弁をさけました。

「憲法原点に復興」と知事

「憲法は原発震災で侵害された県民の人権回復のよりどころとなる」との長谷部県議の指摘に対し、知事は「地方制度は、地方自治を本旨」とする憲法の存在意義に触れ、「現行憲法の精神を原点に豊かな県づくりと復興に力をつくす」と語りました。

県民の復興はばむ消費税増税中止求めよ

長谷部県議は、被災地に本社を置く企業の業績悪化の原因第一位が『消費税8％への増税』だったとする東北大学・震災復興センターの調査結果を示し、県民の復興への努力に水を差す消費税の10％への増税に、県として中止を求めるよう迫りました。

新設「子ども未来局」で貧困対策を

貧困の連鎖を断つため、政府の貧困対策大綱に基づく計画づくりや子どもの貧困対策に一元的にあたる部局を県として確立すべきと求めたことに対し、来年度に新設予定の「子ども未来局を中心に取り組む」との立場を総務部長が明らかにしました。

原発固執の安倍暴走にストップ

大震災・原発事故から4回目の正月を迎えました。本年こそ、被災県民の人権回復に本格的に取り組む年にしなければなりません。

新年度予算要望で内堀雅雄新知事に対し、国・東京電力ときっぱり対じすることでこそ「オール福島」の願いは実現できると求めました。

原発に固執し、福島の事故も被害も終わったことのように扱い、全国の原発再稼働をねらう安倍政権の暴走にストップをかけるため、新たに大きくなった党国会議員団とも連携して全力をつくします。

再生エネ買取中断は撤回を

東北電力が突然示した固定価格買い取り契約の中断は、原発に頼らない復興をめざす福島県の取り組みを阻むものです。

日本の再生可能エネルギーの割合はわずか数％にすぎず、主要先進国中最低レベルです。県議会は国と電力会社に対し、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の堅持、系統接続保留の早期解除、送配電網の増強などを求めました。

この問題でも全国の原発再稼働中止と、原発依存の「エネルギー基本計画」の転換が強く求められます。

住まい再建は復興の土台
県独自の支援求める

質問する
宮本しづえ県議
（12 月 11 日）

宮本しづえ県議　一般質問

宮本しづえ県議が一般質問を行い、住まいの再建のほか、除染、全県民への精神的損害賠償、子育て支援、奨学金問題、災害対策などを取り上げました。

岩手県並みの支援すべき

被災者の生活と生業再建の土台が住まいの再建ですが、県内で国の被災者生活再建支援法による支援金を受けた被災者は約３万件です。全壊、大規模半壊は無条件で基礎支援金が受けられますが、まだ制度を知らない県民がいることから、もれなく申請できるよう、制度の周知徹底を求めました。国の制度では建て替え、修繕で出る加算金を合わせても最高で３００万円しかなく、建築資材の高騰、消費税増税で支援金分は全部消えてしまいます。岩手県では、国の制度を補完し独自の支援金の上乗せをはじめ、宅地復旧支援等の組み合わせで最高４６０万円の独自の直接補助があることを示し、本県も独自の支援策を講じるべきと求めました。今議会には、ＵＲ（都市再生機構）建設の復興住宅１戸約４千万円の買取り予算が計上されており、個人の自力再建にもっと手厚い助成をすべきと指摘しましたが、被災者に寄り添う姿勢は見られません。一方、今議会では国に生活再建支援制度の拡充を求める意見書が全会一致で上がりました。

米価下落対策は急務

今年は全国的な米価下落が大問題になっていますが、とりわけ原発被災地本県の下落幅は大きく、ＪＡの概算金は浜通りで60kg６９００円と前年比４２００円減で、５００ｍｌペットボトル一本で46円と水より安く生産費にもなりません。市場任せの国の方針を変えさせ県も助成をと求めましたが、県は融資だけです。

JA 県中央会と懇談する高橋千鶴子衆院議員と県議団、左手前は JA の川上常務＝12 月 17 日

雪害補助金の早期支給を

昨年２月の大雪によるハウス被害に対する補助金がまだ農家に届かない問題で、早期支払いを求めると、11月に交付決定されたので順次農家に届く見込みと答えました。

医療・介護総合法　子ども・子育て支援新制度

公的責任の縮小許さず県の役割発揮を

安倍政権が進める社会保障の公的責任縮小に対して、県議団は、日本一子育てしやすい県、日本一長生きの県をつくるにふさわしい県の公的責任発揮を求めました。

今議会には認定こども園等に係る施設基準を定める条例が、国の示した基準を上回る県独自基準を維持する内容で提案され、全会一致で可決されました。

これまでのサービス水準を後退させることのないよう、県が市町村を支援するよう引き続き求めます。

大企業応援転換し、県民生活に心寄せる県政へ

決算討論・19日
神山悦子県議

前年度の普通会計決算、地域開発事業会計決算の２議案に反対しました。放射能汚染水漏れなどが明らかになる一方、住民帰還や賠償、復興方針など政府の福島切りすての方向が明確にされたことに対し県の対応は不十分だったと指摘。復興や避難者を支える医療・福祉・教育の職員の増員を図る予算であるべきだったと述べました。

地域開発事業決算について、三菱ガス化学(株)に投資額の半額以下で売却し、多額の欠損金を生じさせた問題を指摘。再生エネ、一次産業、中小企業、福祉施設などを支援する「内発型」へ、従来の企業誘致偏重の転換を求めました。

討論・19日
宮川えみ子県議

国民を番号で管理するマイナンバー制について、社会保障抑制と一体であり不必要と指摘。議員や知事の特別職の期末手当増は県民の所得水準に照らして実施すべきでないと反対意見を述べました。

学校給食無料化、高校の給食実施、奨学金制度の拡充を求める請願について採択すべきと訴えましたが、議会の多数で不採択とされました。子どもの貧困対策に水を差すものです。

意見書・請願等	共	自	公	民	未	み	
死刑制度とその運用に慎重な対応を求める意見書	○	×	○	×	○	※	否
原子力損害賠償金を非課税とする特別法制定を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否
公的保育制度の堅持を求める意見書	○	×	×	×	×	○	否
義務教育諸学校教職員給与費の義務教育費国庫負担を２分の１に復元するとともに制度の充実を求める意見書	○	×	×	×	×	○	否
高校生就学支援基金の延長及び返済猶予や減免制度のある奨学金制度を整備・拡充することを求める意見書	○	×	×	×	×	○	否
日本一子育てしやすい環境を充実させるために小・中学校の給食無償化の実施を求めることについて（請願）	○	×	×	×	×	○	否
日本一子育てしやすい環境を充実させるために高等学校の給食実施を求めることについて（請願）	○	×	×	×	×	○	否
被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可

※印…みどりの風は一部議員が賛成と退席

共=共産党県議団（５人）
自=自民党会派（28 人）
公=公明党県議団（３人）
民=民主県民連合（14 人）
未=ふくしま未来ネットワーク（５人）
み=福島・みどりの風（２人）

欧州各国～福島事故に学び原発ゼロ決断

班ごとの海外調査報告書

７月７日から 10 日間、欧州各国のエネルギー政策や原発行政・事故対策を学ぶ海外行政調査が２班にわかれて実施され、神山悦子、阿部裕美子、宮本しづえの各県議が参加しました。このほど報告書が取りまとめられ、「脱原発・廃炉対策」や「再生可能エネルギーの普及促進」「放射性廃棄物最終処分」など 25 項目にわたって県政への提言が行われました。

※報告の詳細は「福島県議会のホームページ」をご覧ください。

朗報

仮設出る希望者へエアコン等譲与可能に

エアコン、照明器具、カーテン、消火器など仮設住宅の備え付け物品が、希望する退去者や、住宅を管理する市町村を対象に譲与できることになりました。仮設住宅から自立する世帯も生まれており、新たな住宅で使用できます。

ただし、取り外しや移設の費用は個人負担となります。詳しくはお住まいの市町村にお問合せください。